

MATRIX

ENDURANCE CYCLES



重要な注意事項

本説明書は大切に保管してください。

Matrixのサイクルをご使用の際、基本的な安全に関する注意事項を常を守る必要があります。本マシンのご使用前にすべての説明をお読みください。本マシンを所有している方が責任を持って、使用者全員が警告および注意事項をすべて理解するようにしてください。

本機は屋内でのみ使用できます。本機は、フィットネス施設などの業務用施設での使用を目的として設計されたSクラスの製品です。

警告！

やけど、火事、電気ショック、怪我のリスクを低減するため：

- ・本機は、本マニュアルに記載通りの用途のみにご使用ください。メーカーによって推奨されているアタッチメント以外は使用しないでください。
- ・本機が正常に動作していない場合、または損傷している場合は絶対に使用しないでください。点検及び修理については、カスタマーサービスまたは認定ディーラーまでお問い合わせください。
- ・本機をご使用の際は、本機に適した靴を着用してください。裸足で本機を絶対に使用しないでください。
- ・本機の可動部に引っかかるような衣服を着用しないでください。
- ・怪我をする危険があるため、可動部には絶対に手足を触れないでください。ペダルクランクを手で回さないでください。
- ・ペダルが完全に停止するまで本機から降りないでください。
- ・立った状態で本機に乗ろうとしないでください。
- ・物体、手指、足を開口部に入れないでください。手指、腕、足を本機の駆動部またはその他の可動部に当たらないようにご注意ください。
- ・本機が損傷した場合、または一部の部品が摩耗しているか、壊れている場合、本機を使用しないでください。カスタマーサービスまたは認定販売店からご購入の交換パーツのみを使用してください。
- ・エアロゾル（スプレー）製品が使用される場所、または酸素投与が行われる場所で本機を使用しないでください。

- ・お子様が付近に居る場所で使用する場合、お子様から目を離さないでください。
- ・本機は、身体能力、感覚能力または精神的能力に障害をお持ちの方、または本機の使用について十分な経験および知識をお持ちでない方による使用を対象としていません。但し、これらは本機を使用する方の安全責任者の下で監視または指示が行われている場合はこの限りではありません。
- ・調節レバー（シートとハンドルバー前後調節）が正しく固定されており、運動の邪魔にならないことを確認してください。
- ・正しい方法に従わずに、または適度な範囲を超えて運動を行うと、重度の怪我や死亡に至る恐れがあります。胸の痛み、吐き気、めまい、息切れなど、何らかの身体の異常を感じた場合、運動を直ちに停止して、続行する前に医師にご相談ください。
- ・マシン上で飛び上がらないでください。
- ・本機の定員は1名です。
- ・取扱説明書の仕様に指定されている体重以上の方は本マシンを使用しないでください。これに従わない場合、保証が無効になります。
- ・電源コードを加熱した表面から離してください。本機器の電源コードを引っ張ったり、つかんだりして、製品ユニットを運ばないでください。
- ・メーカーによって推奨されていない、別のアタッチメントは使用しないでください。アタッチメントにより怪我を負う恐れがあります。

危険！

感電のリスクを減らすために：

使用直後、清掃やメンテナンスの実行、部品の取り付けや取り外し前には必ず本機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・本ユニットはユニットガイドおよび取扱説明書に記されている通りでのみ使用してください。
- ・本機を保守または移動する前にはすべての電源を切ってください。クリーニングには表面を石鹸水でわずかに湿らせた布で拭いてください。溶剤は使用しないでください。（メンテナンス参照）
- ・マシンの周囲10フィート（3メートル）以内の範囲にベットまたは14歳未満の子どもを近付けないでください。
- ・14歳未満の子どもはマシンを使用してはなりません。
- ・14歳以上の子どもは成人の監視の下でない限り、使用してはなりません。
- ・コードや電源プラグが損傷している場合、本ユニットが正常に作動しない場合、落としてしまったり、損傷を受けていたり、水浸しになった場合には絶対に本ユニットを稼働させないでください。ユニットをサービスセンターに返送して、検査および修理を依頼してください。
- ・接続を解除するには、すべてのコントロールをオフ位置に切り換え、それから電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・カスタマーサービスから指示されるまではコンソールカバーを取り外さないでください。メンテナンスは公認のサービスエンジニアのみが行ってください。
- ・心拍数モニタリングシステムは正確でないこともあります。

注意！

本機のご使用前に医師にご相談ください。ご使用前に取扱説明書をお読みください。

本マシンは必ず屋内の気温と湿度が制御されている部屋でご使用ください。本マシンが低温または高温の気候にさらされた場合は、初回使用前に本機を室温に慣らしてから使用することを強く推奨します。





電源要件

専用回路と電気系統に関する情報

「専用回路」とは、差し込んだコンセントでは、その同一回路上で他に何も動作していないことを意味します。このことを検証する最も簡単な方法は、メイン回路のブレーカーボックスの位置を特定し、ブレーカー（1つまたは複数）を同時にオフにする方法です。ブレーカーがオフになると、電力を供給されなくなる唯一のものが、当該のユニットであるはずで、このテストを実行すると、ランプも自動販売機も換気扇も音響設備もその他あらゆる物も電力供給を失わないはずで、

非ループ状（絶縁）の中性点接地とは、各回路から個別の中性点接地接続が出ていて、認可されたアース接地で終わっていることを意味します。1つの回路から次の回路へ単一の中性点接地で「ショートカット」することはできません。

電気系統要件

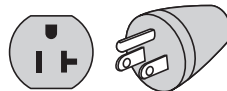
安全のため、またユニットが確実にすぐれたパフォーマンスを発揮できるよう、本回路の接地は非ループ状（絶縁）になっている必要があります。NEC（米国電気工事基準）の210-21項および210-23項を参照してください。付属の標準電源コードには、いかなる変更を加えた場合も本製品のすべての保証が無効になるおそれがあります。

LEDおよびプレミアムLEDコンソールを内蔵したユニットには電源が内蔵されているため、動作に外部電源を必要としません。外部電源がないと、コンソールの起動に時間かかる場合があります。アドオンテレビおよびその他のコンソールアクセサリには、外部電源が必要です。外部電源により、コンソールに常に電力が供給されます。アドオンアクセサリを使用する場合には外部電源が必要になります。

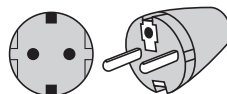
テレビを内蔵したユニット（Touch）の場合、テレビの電源要件はユニットに含まれています。両端が「Fタイプ」のコンプレッション フィッティングであるRG6クワッドシールド同軸ケーブルはカーディオユニットとビデオソースに接続する必要があります。アドオンのデジタルテレビには追加の電源要件は必要ありません。

110 Vユニット

110 Vユニットでは、電源には100-125 V、60 Hzを使用し、非ループ状（絶縁）中性点接地を持つ15 Aの「専用回路」が必要です。このコンセントはNEMA 5-15Rであり、電源プラグと同じ構成になっている必要があります。本製品にはアダプターを併用しないでください。本機は15 Aの専用回路で最大4ユニットまで数珠接続可能です。Matrix 数珠接続コードアダプターは別売です。



110 NEMA 5-15 P プラグ（北米）



ユーロプラグ（欧州）

図は北米および欧州の電源コードプラグ。国によって、プラグの種類は異なる場合があります。

接地の指示事項

本ユニットは接地する必要があります。故障や機能停止が発生した場合、接地により、電流には抵抗が最小となる経路が与えられるので、感電のリスクが減ります。本ユニットには機器接地導線と接地プラグのついたコードが装備されています。プラグは正しく取り付けられた適切なコンセントに差し込み、現地の規定や条例に従って接地する必要があります。使用者が以上の接地の指示事項に従わない場合、Matrixの限定保証が無効になるおそれがあります。

追加の電気系統に関する情報

専用回路の要件に加え、回路のブレーカーボックスから、最大数のユニットに給電している各コンセントまで、適切な規格のワイヤを使用する必要があります。回路ブレーカーボックスから各コンセントまでの距離が100フィート（30.5 m）以下の場合は12番のワイヤを使用してください。回路ブレーカーボックスからコンセントまでの距離が100フィート（30.5 m）より大きい場合は10番のワイヤを使用してください。

省エネ / 低電力モード

すべてのユニットは、ある一定期間使用していなかった場合に省エネ / 低電力モードに切り替わるよう設定されています。低電力モードになった場合は、ユニットが完全に再開できるまでにさらに時間が必要になることがあります。この省エネ機能は「マネジャーモード」または「エンジニアモード」で有効にしたり、無効にしたりできます。

アドオンデジタルテレビ

アドオンデジタルテレビには追加の電力が必要なため、外部電源を使用する必要があります。両端が「Fタイプ」のコンプレッション フィッティングであるRG6同軸ケーブルは、ビデオソースと各アドオンのデジタルテレビユニット間で接続する必要があります。

FCC 規則（米国のみ）

本機は FCC 規則パート 15 に従って試験済みであり、クラス B、デジタルデバイスの制限事項に適合すると判定されています。これら制限事項は住宅地域で設置された場合の有害な電磁波に対する適正な保護を提供するように規定されています。本機は高周波エネルギーを生成、使用し、高周波エネルギーを放射することがあります。指示通りに設置、使用されなかった場合、無線通信に対する有害な電磁障害を起こすことがあります。しかしながら、特定の設置状況において電磁障害が起きないとの保証はありません。本機がラジオまたはテレビの受信に有害な電磁障害を起こした場合、次の措置を取ることで電磁障害を是正することを推奨いたします。電磁障害の有無は本機の電源を切ってから入れることで特定することができます。

- 受信アンテナの向きを変えるまたは場所を変える。
- 本機と受信機間の間隔を広くする。
- 受信機が接続されているのは別のコンセントに本機を接続する。
- 販売店または熟練のラジオ / テレビ技師にサポートを依頼する。

FCC RF 放射線照射に関するステートメント：

1. 本送信機は別のアンテナまたは別の送信機と一緒に配置したり、稼働させてはなりません。
2. 本機は制御された環境に対して規定された FCC RF 放射線照射限界に適合します。本機は放射源と人体の間に 20 センチメートル以上の距離を空けて設置および稼働する必要があります。

組立

開梱

本機の開梱は本機を使用する場所で行ってください。箱を平坦で水平な床面に配置してください。床面上に保護カバーを配置することが推奨されます。箱が横転している状態で開梱しないでください。

重要な注意

組み立ての各ステップにおいて、ナットとボルトのすべてが所定の位置に配置されており、部分的にねじ込まれていることを確認してください。

組立時や使用時の補助として、一部の部品は事前に潤滑剤が塗布されています。潤滑剤を拭き取らないでください。潤滑が不足すると思われる場合、リチウムグリスを軽く塗布することを推奨いたします。

警告！

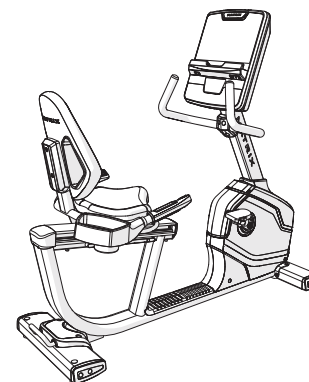
組み立ての工程にはいくつか特に注意する必要がある箇所があります。組み立ての説明に正確に従って全ての部品がしっかり締め付けられていることを確認することは、非常に重要です。組み立ての説明に正しく従わない場合、部品の締め付けが不十分であったり緩みが生じたりすることがあり、耳障りなる音が発生する原因となることがあります。本機の損傷を防ぐために、組立の説明をご確認のうえ、必要な修正方法に従っていただく必要があります。

お問い合わせについて

ご質問がある場合、または部品が不足している場合、カスタマーサービスまでお問い合わせください。連絡先情報はインフォメーションカードにあります。

28
ページ

リカンベントサイクル



30
ページ

アップライトサイクル



日本語



リカンベントサイクル 組立

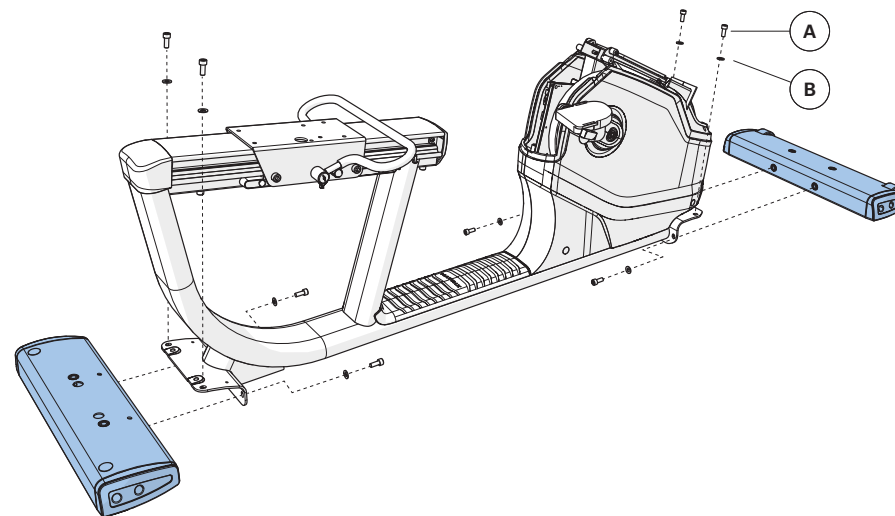
必要な工具:

- ☐ 4 mm 六角棒レンチ
- ☐ 6 mm 六角棒レンチ
- ☐ 平スパナ (15 mm / 17 mm 325 L)
- ☐ プラスドライバー

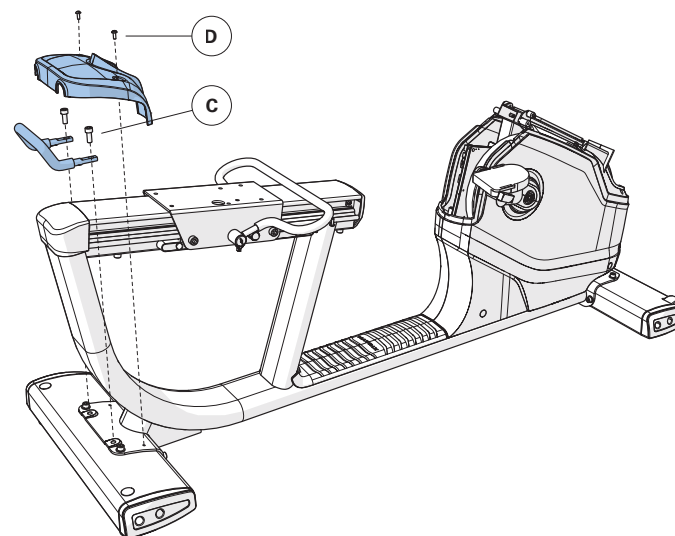
同梱部品:

- ☐ 1 メインフレーム
 - ☐ 1 リアスタビライザーチューブ
 - ☐ 1 フロントスタビライザーチューブ
 - ☐ 1 リアフレームハンドル
 - ☐ 1 リアフレームカバー
 - ☐ 1 コンソールマスト
 - ☐ 1 コンソールハンドルバー
 - ☐ 2 ハンドルバーカバー
 - ☐ 1 シートフレーム
 - ☐ 1 ドリンクボトルポケット
 - ☐ 1 シートベース
 - ☐ 1 シートバック
 - ☐ 1 ハードウェアキット
 - ☐ 1 電源コード
- コンソールは別売

1	ハードウェア	数量
A	ボルト	8
B	スプリングワッシャー	8

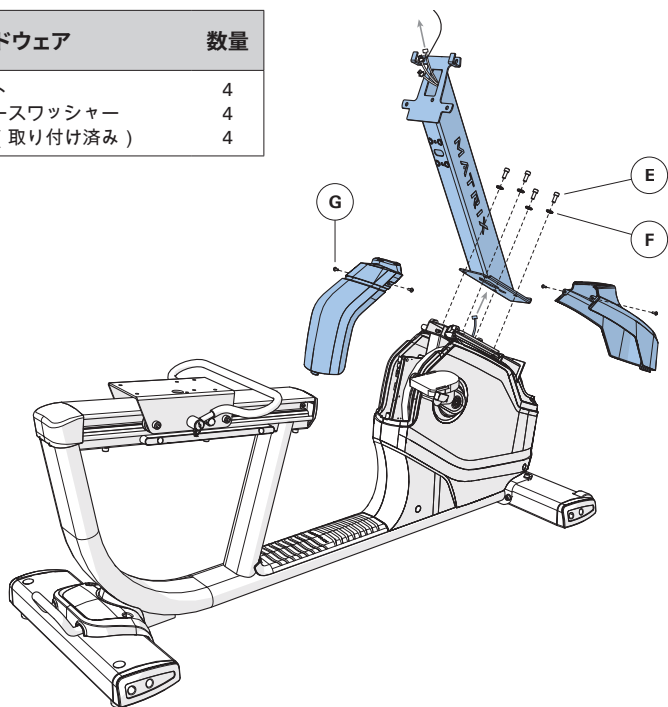


2	ハードウェア	数量
C	ボルト	2
D	ネジ	2

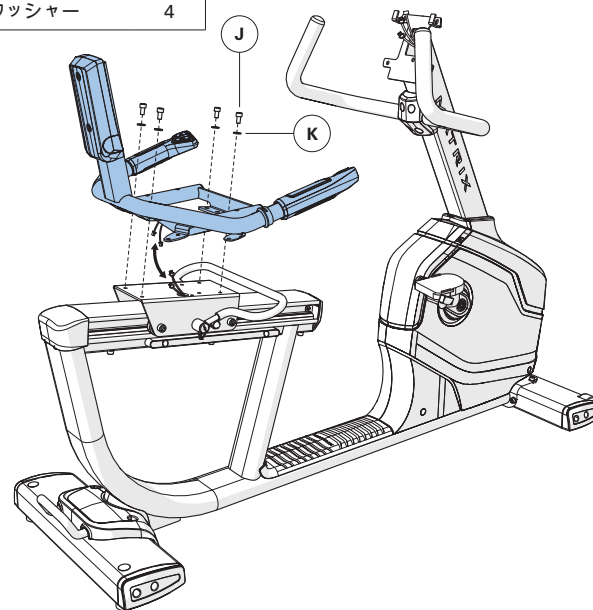




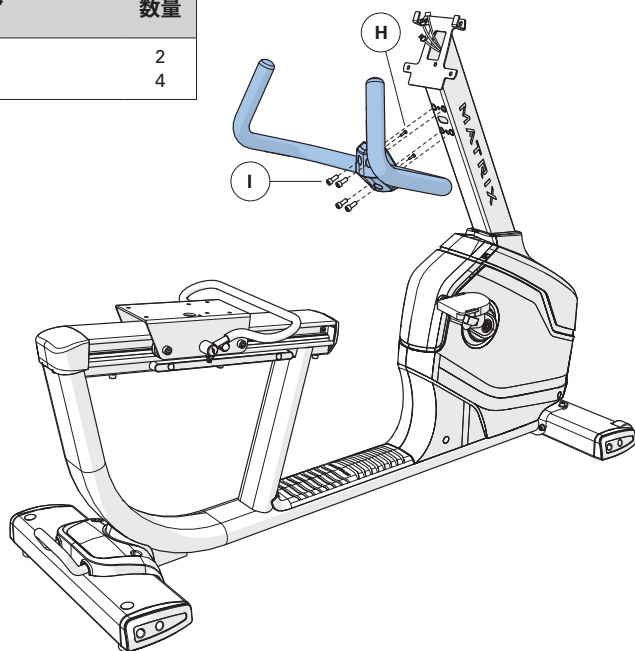
3	ハードウェア	数量
E	ボルト	4
F	トウスワッシャー	4
G	ネジ (取り付け済み)	4



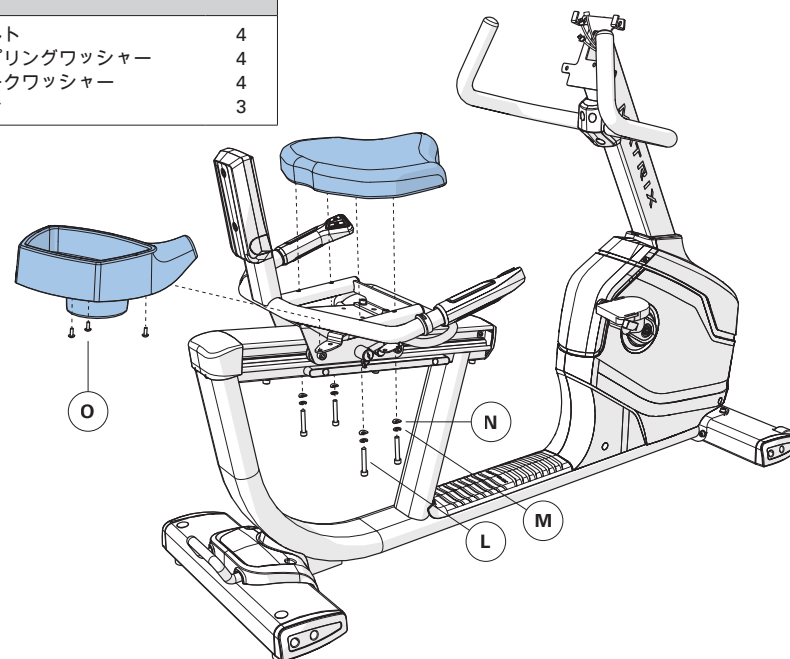
5	ハードウェア	数量
J	ボルト	4
K	スプリングワッシャー	4



4	ハードウェア	数量
H	ネジ	2
I	ボルト	4



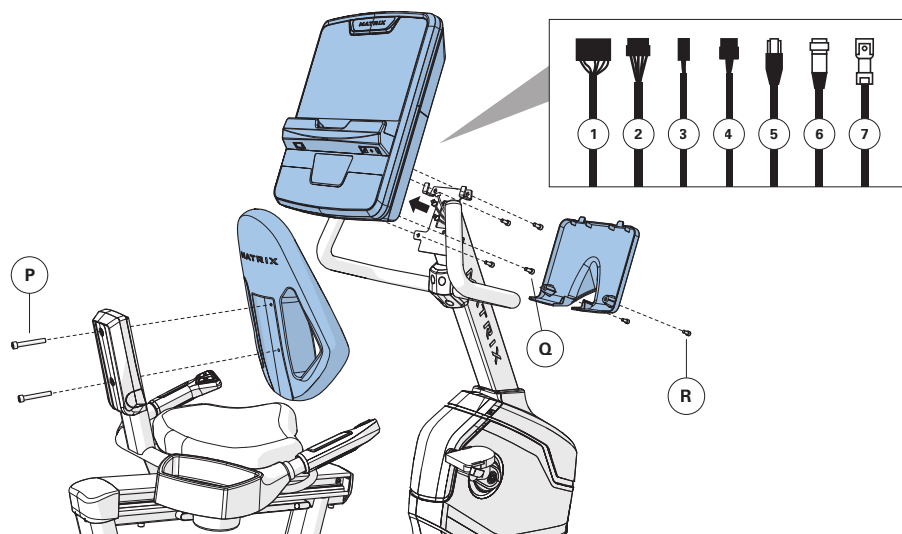
6	ハードウェア	数量
L	ボルト	4
M	スプリングワッシャー	4
N	アークワッシャー	4
O	ネジ	3



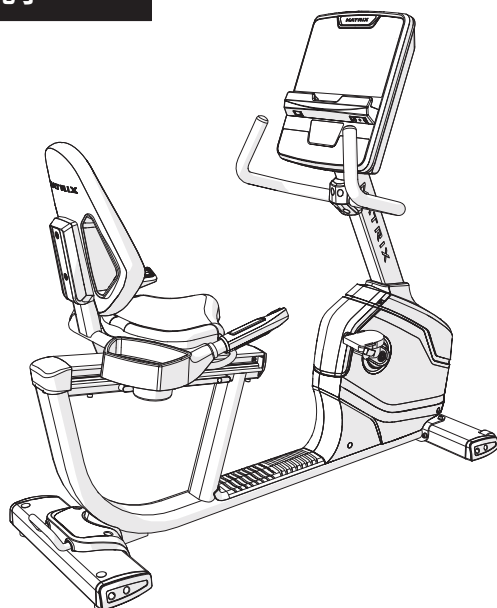


7	ハードウェア	数量
P	ボルト	2
Q	ボルト (取り付け済み)	4
R	ボルト	2

- 1 LCBコミュニケーション
- 2 延長電源線
- 3 心拍数
- 4 クイックキー
- 5 イーサネット
- 6 同軸
- 7 アース線



組み立て完了



UPRIGHT CYCLE ASSEMBLY

TOOLS REQUIRED:

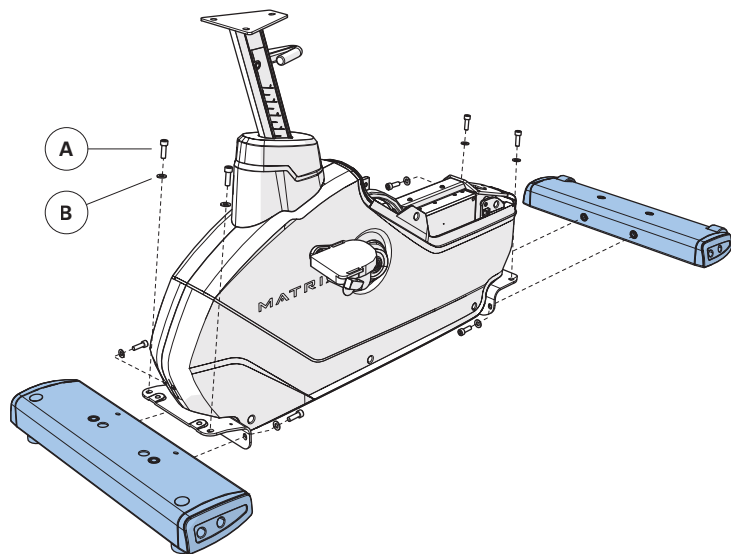
- ☐ 4 mm Allen Wrench
- ☐ 6 mm Allen Wrench
- ☐ Flat Wrench (13/15 mm)
- ☐ Phillips Screwdriver

PARTS INCLUDED:

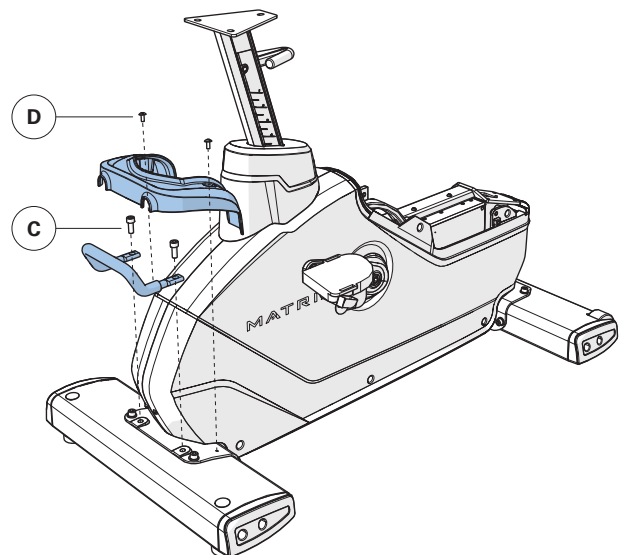
- ☐ 1 Main Frame
- ☐ 1 Rear Stabilizer Tube
- ☐ 1 Front Stabilizer Tube
- ☐ 1 Rear Frame Handle
- ☐ 1 Rear Frame Cover
- ☐ 1 Console Mast
- ☐ 1 Water Bottle Holder
- ☐ 1 Seat Base
- ☐ 1 Arm Rest Handlebars
- ☐ 1 Front Shroud Cover (pre-installed)
- ☐ 1 Rear Shroud Cover (pre-installed)
- ☐ 1 Hardware Kit
- ☐ 1 Power Cord (packaged with console)

Console sold separately

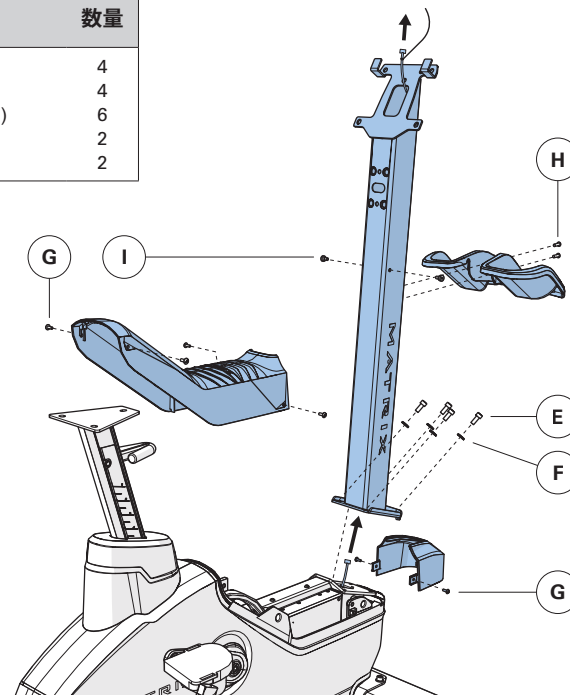
1	ハードウェア	数量
A	ボルト	8
B	フラットワッシャー	8



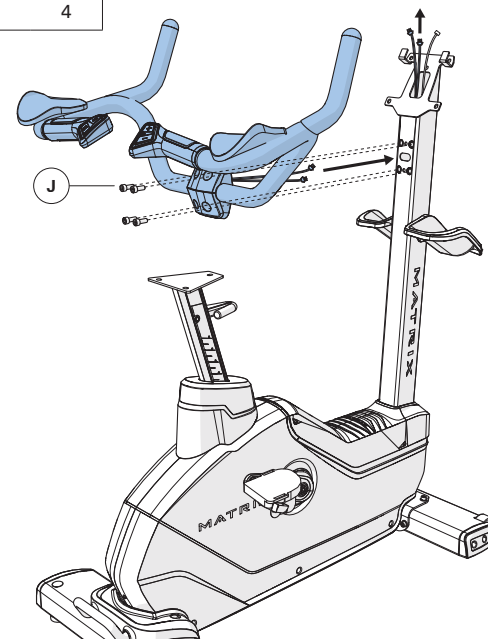
2	ハードウェア	数量
C	ボルト	2
D	ネジ	2



3	ハードウェア	数量
E	ボルト	4
F	トウスワッシャー	4
G	ネジ (取り付け済み)	6
H	ネジ	2
I	ボルト	2

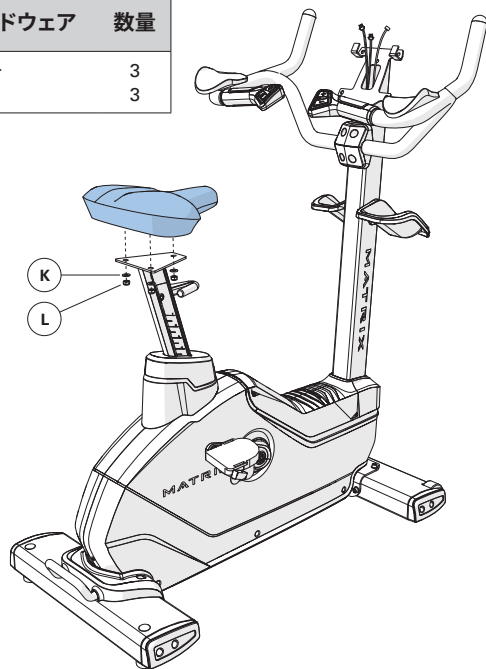


4	ハードウェア	数量
J	ボルト	4



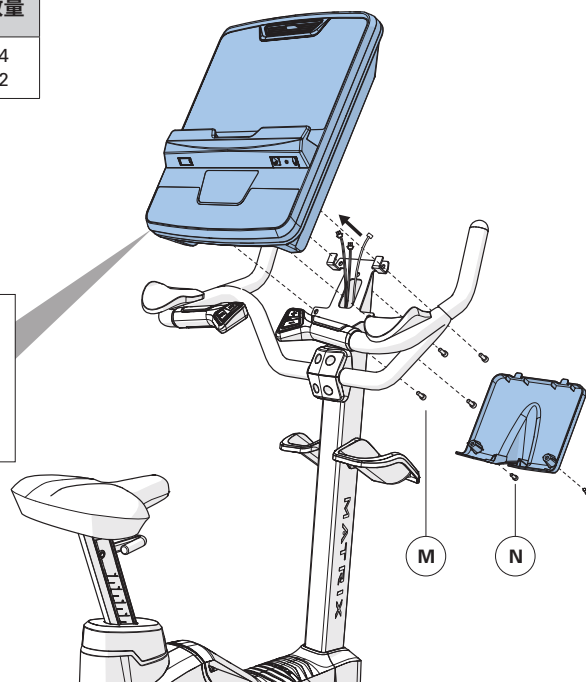
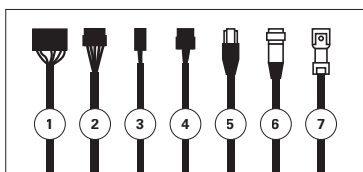
**5 取り付け済みハードウェア 数量**

K	フラットワッシャー	3
L	ナイロンナット	3

**6 ハードウェア 数量**

M	ボルト (取り付け済み)	4
N	ボルト	2

- 1 LCBコミュニケーション
- 2 延長電源線
- 3 心拍数
- 4 クイックキー
- 5 イーサネット
- 6 同軸
- 7 アース線

**組み立て完了**

ご使用前に

マシンの設置場所

本機は、直接日射の当たらない、平坦で安定した面に配置してください。強い紫外線はプラスチック部の退色を招くことがあります。本機は低温低湿の場所に配置してください。本機の両側に少なくとも24インチ (600 mm) のスペースを空けてください。この範囲には障害物を置かないようにして、本機からの昇降口を十分に確保してください。本機は排気口または通気口を塞ぐ場所に配置しないでください。本機は、ガレージ、屋根付きパティオ、水付近、屋外に配置しないでください。

本機のレベリング

最適な使用のためには、本機を水平に設置する必要があります。本機を目的の場所に配置したら、フレーム下部にあるレベラーの片方または両方を上げるか下げるかします。6 mmの六角キーをアクセス穴に通します (下図)。

水準器の使用をお勧めします。

注意：本機にはレベラーが2つだけついています。

警告！

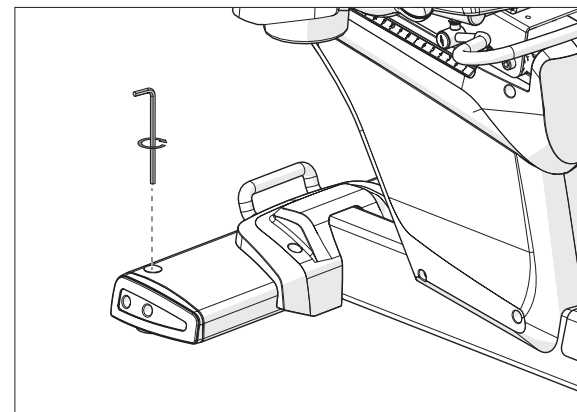
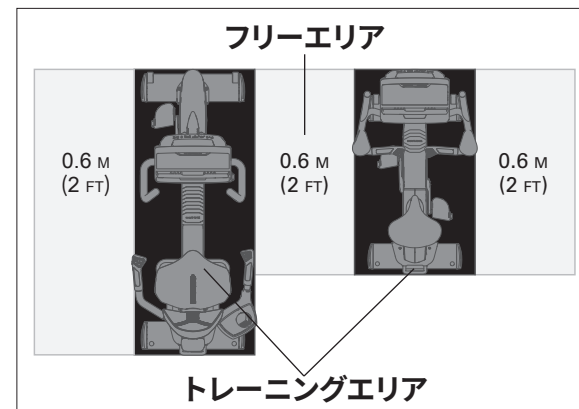
本機は大変重いマシンです。本機を移動する際は、十分に注意して、必要に応じて人数を追加してください。これらの指示に従わない場合、怪我が発生する恐れがあります。

電源

電源装置から本機に電力が供給される場合、電源は本機の前部で、定電圧放電管の近くにある電源ソケットに差し込む必要があります。一部の機器には、電源ジャックの隣に電源スイッチがあります。電源スイッチがON位置になっていることを確認してください。使用していない場合はコードを抜いてください。

警告！

コードや電源プラグが損傷している場合、本機が正常に作動しない場合、損傷を受けていたり、水浸しになったりした場合には絶対に本機を稼働させないでください。カスタマーサービスに問い合わせ、検査および修理を依頼してください。





正しい使用法

リカンベント：シートを適切な位置にするには、本機の横に立って、オレンジ色のハンドルを引き上げてシートを調整します。シートを前後にスライドさせ、必要に応じて、ペダルが一番遠い位置で膝が少し曲がるように調整します。怪我を防ぐために、本機に座っているときにシートの位置を調整しないでください。

アップライト：シートを適切な位置にするには、本機の横に立って、オレンジ色のハンドルを引き上げてシートを調整します。シートが腰の高さよりわずかに低い位置にくるように、シートを上からスライドさせます。必要に応じて、ペダルが一番遠い位置で膝が少し曲がるまで調整を続けます。怪我を防ぐために、本機に座っているときにシートの位置を調整しないでください。

ブレーキシステム

本機は、速度に依存しないブレーキシステムを使用しています。ユーザーは、クランク軸のRPMに関係なく、ブレーキシステムの抵抗を調整できます。

心拍数機能を使用する

本製品の心拍数機能は医療機器用ではありません。心拍数グリップはあなたの現在の心拍数を相対的に推定できますが、正確な数値が必要になる場合は、表示される値を信頼しないでください。心臓リハビリテーションプログラム中の人も含めて、胸部または手首のストラップ式の心拍数モニタリングシステムの使用が役に立つ人もいます。心拍数の読み取りの精度には、使用者の動きも含めて様々な要素が影響を及ぼします。心拍数の表示は、一般的な心拍数の傾向を特定するエクササイズ補助用としてのみ意図されています。医師にご相談ください。

手のひらを直接ハンドルバー上の心拍グリップの上に置いてください。心拍数を記録するには両手でバーを握っている必要があります。心拍数を記録するには、連続で5回分の心臓の鼓動（15-20秒）が必要です。心拍グリップを握る際は、きつく握らないでください。グリップをきつく握ると、血圧が上昇してしまうことがあります。手をまるめて、ゆるくつかみ続けてください。心拍グリップをつかみ続けていると、読み出された結果が不規則になる場合があります。接触部を適切な状態に維持できるよう、心拍センサーを清潔に保ってください。

警告！

心拍数モニタリングシステムは正確でないこともあります。適度な範囲を超えた運動は、重度の怪我や死亡に至る恐れがあります。めまいを感じた場合、直ちに運動を中止してください。



メンテナンスのスケジュール	
作業	頻度
ユニットの電源プラグを抜きます。マシン全体を水と中性洗剤、またはその他 MATRIX 認定液を使用して洗浄します (洗浄剤には非アルコール系および非アンモニア系のものをご使用ください)。	毎日
電源コードを点検します。電源コードが損傷している場合は、カスタマーサービスまで問い合わせてください。	毎日
電源コードが本機の下や保管 / 使用時に挟まれたり切れたりするような場所に無いことを確認します。	毎日
次の手順に従って、サイクルの下を掃除します。 - サイクルの電源をオフにします。 - サイクルを離れた場所に移動します。 - サイクルの下に油や埃があれば拭くか掃除機で掃除します。 - サイクルを元の位置に戻します。	毎週
マシンの組み立て用ボルトとペダルが正しいトルクで締まっているかどうかを点検します。	毎月
シートガイドレールからゴミを取り除きます。	毎月

メンテナンス

1. パーツの取り外しまたは交換は、有資格のサービスエンジニアが行う必要があります。
2. 本機が損傷している、または本機に摩耗している部品や壊れた部品がある場合、本機を使用しないでください。最寄りの MATRIX 販売店から供給された交換パーツのみを使用してください。
3. ラベルとネームプレートの維持: いかなる理由があってもラベルは外さないでください。ラベルには重要な情報が記載されています。ラベルまたはネームプレートが読み取り不可能であったり欠けている場合はご購入の MATRIX 販売店まで交換をご依頼ください。
4. 本機のメンテナンス: 本機を問題なく使用し、損害賠償責任の可能性を最小限にとどめるには、予防的メンテナンスが重要になります。本機は定期的に点検する必要があります。
5. 調整、メンテナンス、または修理の実施者は必ず有資格者であることを常に確認してください。MATRIX 販売店は、ご要望に応じて、当社施設でのサービスとメンテナンスの研修を提供しています。

警告

本機から電源を取り外すには、電源コードを壁のコンセントから抜く必要があります。

製品仕様

コンソール	アップライト			リカンベント		
	TOUCH	PREMIUM LED	LED / GROUP TRAINING LED	TOUCH	PREMIUM LED	LED / GROUP TRAINING LED
最大使用者重量	182 kg / 400 lbs			182 kg / 400 lbs		
製品重量	70 kg / 154.3 lbs	68.2 kg / 150.4 lbs	67.5 kg / 148.8 lbs	91 kg / 200.6 lbs	89.2 kg / 196.7 lbs	88.5 kg / 195.1 lbs
梱包重量	83 kg / 183 lbs	81.2 kg / 179 lbs	80.5 kg / 177.5 lbs	112 kg / 246.9 lbs	110.2 kg / 242.9 lbs	109.5 kg / 241.4 lbs
全体寸法 (長さ×幅×高さ)*	122 x 74.4 x 152.1 cm / 48.0" x 29.3" x 59.9"			154.3 x 67.4 x 144.2 cm / 60.7" x 26.5" x 56.8"		

* MATRIX マシンにスムーズにアクセスできるようにし、マシンの周囲に少なくとも0.6 メートル (24") のスペースを確保してください。
注: 0.91 m (36") は車いす使用者のための ADA 推奨間隔幅です。

MATRIX



ENDURANCE CYCLES

© 2020 Johnson Health Tech
Rev 1.2 C